2026（令和８）年度

大学院学生募集要項

博士前期課程

修　士　課　程

博士後期課程

明星大学
MEISEI UNIVERSITY

目　　次

入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

理工学研究科 …… 1
人文学研究科 …… 6
情報学研究科 …… 7
経済学研究科 …… 8
教育学研究科 …… 8
心理学研究科 …… 9
建築学研究科 …… 11

募集要項

博士前期課程／修士課程 …… 14
一般入学試験（1期・2期） …… 15
心理学研究科　公募制推薦入学試験（1期） …… 29

博士後期課程 …… 33
一般入学試験（1期・2期） …… 34

共通事項 …… 45
特記事項 …… 51

入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

明星大学大学院（以下、本学）は、「学位授与の方針（DP）」に掲げた養成する人材像を達成するため、入学前に身につけておくべき能力等を示した「入学者受け入れ方針（AP）」を定め、学士課程で修得・養成される5つの能力・資質（以下、「5つの能力・資質」❶〜❺）を有するかを評価基準として入学者選抜を実施する。

❶ 課題発見・解決

・実践的かつ体験的な学びを通じて知識・技能を能動的に修得して、多様な実践の場で自ら課題を発見し、それを解決することができる能力・資質。

❷ 思考・判断

・国際化に対応する幅広い視野と多様性を受け入れる創造的思考力及び判断力を修得して、地域社会の発展に寄与しながら、国際社会の発展にも貢献することができる能力・資質。

❸ 関心・意欲・態度

・学生同士並びに教職員との人格接触を伴う学修を通じ、自己を律するとともに自己を確立し、自らの目標を明確に定め、社会に貢献することができる能力・資質。

❹ 知識・理解・表現

・多様な価値観を受け入れることができる自立した市民に相応しい幅広い教養を修め、社会的倫理に従って自己を律しながら、多様なコミュニケーションの方法を用いて、修得した教養を社会のために役立てられる能力・資質。

❺ 技術・技能

・国内外の社会に専門的技術・技能を以て貢献しうる証として種々の資格を取得している。あるいは、資格化されていないが社会に貢献しうる技術・技能を、又はそのような技術・技能の基礎を成す資質を修得している能力・資質。

理工学研究科

物理学専攻

① 博士前期課程

・AP1：自然科学における実証性、論証性という方法論を理解し、特に宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかの分野における興味と基礎知識をもっている。
・AP2：宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかにおいて、テーマをみつけ、物理的手法によりその理解と、問題解決に努力をする意欲をもっている。
・AP3：理学・工学の分野を横断的に見渡し、専門知識を他分野にも応用することに意欲がある。
・AP4：物理学以外の活動で起こっている事象の中からでも、理論や、実験による物理学手法による解決に関心・意欲をもっている。

・AP5：テーマの中で得た理論や実験の結果を整理し、物理学に関する、発表・議論に積極的に臨むことに意欲をもっている。
・AP6：自ら率先して、研究室内の運営に携わること、良い人間関係を築くことに意欲を持っている。
・AP7：現場で発生する問題・課題に対して、根源に立ち戻ってその解決方法を探ることに意欲をもっている。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科物理学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5,6）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,7）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（英語・専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1）に示す能力・資質を評価します。

② 博士後期課程

・AP1：自然科学における実証性、論証性という方法論を理解し、自然科学、特に宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかの分野における修士課程修了程度の知識を持っている。
・AP2：理学・工学の考え方や原理に基づき、問題を解決することに意欲を持っている。
・AP3：現実の社会で発生している物理学以外の問題・事象に対しても、各専門分野で経験した研究手法を適用することに意欲を持っている。
・AP4：より高度な物理学を学び、物理学以外の活動で起こっている事象の中で、物理学の手法で解決できるものがあるならば、その解決策を提示することに意欲を持っている。
・AP5：宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかの分野の中で理論や実験の高度な結果を得ること、専門分野において投稿、発表することに意欲を持っている。
・AP6：新たな研究テーマを自ら考え提案・研究して、未知の問題に解決策を与えられる専門的職業人となることに意欲を持っている。
・AP7：研究などにおいて理論を提案するだけでなく、実際にやって検証すること、または検証するための技術を身につけることに意欲を持っている。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科物理学専攻博士後期課程で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5,6）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,7）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（英語・専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1）に示す能力・資質を評価します。

化学専攻

① 博士前期課程

・AP1：文献調査のための英文読解能力、実験から多くを学ぶ観察能力を有している人。
・AP2：文献・書籍からの知識、自身の知見、将来の展望との区別が明確な思考法と判断能力を有している人。
・AP3：化学研究の実施に高いモチベーションを有している人。
・AP4：不明・不確実なことを自ら調べる姿勢を有している人。
・AP5：考えながら実験を進めていく姿勢を有している人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科化学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書、筆記試験（英語・専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

② 博士後期課程

・AP1：専門分野の研究動向を把握し、自らの研究の位置付けをして、将来の展望を有している人。
・AP2：研究手法の高度化を工夫する思考法を備え、結果の解析の精度を確実に判断する能力を有している人。
・AP3：専門分野に関わる関連分野の発展にも関心を広げ、現実性のある将来の展望を有している人。
・AP4：自身の研究に責任ある姿勢を持つことができる人。
・AP5：研究手法の工夫を継続して進めていく姿勢と能力を持っている人。自らの研究を専門家にも、また社会にも説明できる能力を有している人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科化学専攻博士後期課程で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書、筆記試験（小論文）により､「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

機械工学専攻

① 博士前期課程

・AP1：材料力学、機械力学、流体力学、熱力学の基礎を理解し、各力学の実験、結論を導き出すことができる。
・AP2：プロジェクト科目、卒業研究を通して指導教員とともに自らのテーマの内容を把握し、専門用語等の説明できる能力が身に付いている。
・AP3：関連分野の文献検索ができる。関連学会を積極的に参加する意欲を有している。

・AP4：研究室での研究等の運営を協調性を持ってできる。
・AP5：自らの研究についてのまとめる能力（文章力、プレゼンテーション）が身に付いている。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科機械工学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

筆記試験（英語・専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」を基準として、アドミッションポリシー（AP1）に示す能力・資質を評価します。

研究計画書および面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

② 博士後期課程

・AP1：材料力学、機械力学、流体力学、熱力学を体系的に理解し、関連した分野の実験方法を理解している。
・AP2：具体的かつ詳細な研究計画を立案し、当該研究計画に基づき実験及び解析をやり遂げることができる。
・AP3：ディスカッションを通じて、研究手法、実験手法、解析手法に創意工夫を加えることができる。
・AP4：指導教員等と円滑なコミュニケーションを図りながら、リーダーシップをもってチームの研究に貢献することができる。
・AP5：科学技術の発展と多様化に対応できる論理的思考力と文章力、プレゼンテーション能力を有している。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科機械工学専攻博士後期課程で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書および面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

電気工学専攻

① 博士前期課程

・AP1：電磁気や回路等に関する基本的知識と理解力を有する人。
・AP2：電気工学の体系を身につけ、応用力を持とうとする人。
・AP3：電気工学専攻が掲げる目的を理解し、それを遂行する意欲がある人。
・AP4：自ら学ぼうとし、発信しようとする人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科電気工学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、ア

ドミッションポリシー（AP2,4）に示す能力・資質を評価します。

② 博士後期課程

・AP1：前期課程の研究概要又はそれに相当することについて、説明することができる人。
・AP2：電気工学の体系を身につけ、応用力を持とうとする人。
・AP3：電気工学専攻が掲げる目的を理解し、それを遂行する意欲がある人。
・AP4：自ら学ぼうとし、発信しようとする人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科電気工学専攻博士後期課程で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書・修士論文要旨により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP2,4）に示す能力・資質を評価します。

環境システム学専攻

① 博士前期課程

・AP1：環境技術者又は研究者を目指す人。
・AP2：アジア地域の環境保全に関心を持つ人。
・AP3：環境問題に関心を持ち、それを解決する意欲のある人。
・AP4：自主的・継続的に勉学・研究を実行できる人。
・AP5：環境全般の基礎的知識を持ち、実験・調査に取り組める人。（大学卒業レベルの英語力のある人）

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科環境システム学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（英語・専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,5）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,4,5）に示す能力・資質を評価します。

② 博士後期課程

・AP1：高度なレベルの環境技術者又は研究者を目指す人。
・AP2：研究に対して計画から実験・調査および分析を行うことができる人。
・AP3：環境問題に関心を持ち、それを解決する意欲のある人。
・AP4：自主的にかつチームワークで研究ができる人。

・AP5：研究論文等を読みこなすレベルの英語力のある人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した理工学研究科環境システム学専攻博士後期課程で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,3,5）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,4）に示す能力・資質を評価します。

人文学研究科

国際コミュニケーション専攻

① 博士前期課程

・AP1：本専攻に入学する学生は、英語か中国語（留学生は英語か日本語）による基礎的な文書作成・読解ができる。
・AP2：専門的な指導のもとに、研究課題を設定・遂行できる。
・AP3：専門的な指導のもとに、研究課題の適切な調査・分析ができる。
・AP4：異文化に対する深い関心を養うことができる。
・AP5：他者とのコミュニケーションを通して学問的な交流ができる。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した人文学研究科国際コミュニケーション専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,4,5）に示す能力・資質を評価します。

② 博士後期課程

・AP1：本専攻に入学する学生は、英語か中国語（留学生は英語か日本語）による基礎的な文書作成・読解ができる。
・AP2：独自の研究課題を設定・遂行できる。
・AP3：独自の研究課題を適切に調査・分析ができる。
・AP4：課題解決に必要な知識・情報を収集・分析できる。
・AP5：他者とのコミュニケーションを通して学問的交流ができる。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した人文学研究科国際コミュニケーション専攻博士後期課程で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により､｢5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,4,5）に示す能力・資質を評価します。

情報学研究科

情報学専攻

①　博士前期課程

・AP1：コンピュータのハードウェアとソフトウェア、及び数学の基礎的知識が身についている。
・AP2：ネットワーク、アプリケーションプログラミング、情報処理に関する基礎的知識が身についている。
・AP3：コンピュータに関わる工学的な課題を把握し、論理的に理解することができる。
・AP4：技術者としての倫理観と専門知識を有し、社会に対する責務を負うことができる。
・AP5：各分野で利用されているプログラミング言語を用いて、実用的なプログラミングができる。
・AP6：自然科学、社会科学、人文科学等の分野において、情報処理技術を幅広く活用することができる。
・AP7：様々な課題に対して論理的な思考を簡単な文章で表現することができる。
・AP8：自律的に学習し、日常生活をしていく上で必要な表現力、コミュニケーション力などの基本的な技能が身についている。
・AP9：最新の情報知識､技術知識の概要を理解し､その応用方法を簡単な文章で表現することができる。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した情報学研究科情報学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、｢5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP3,4,6,7,9）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により､｢5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5,6,7,8,9）に示す能力・資質を評価します。

②　博士後期課程

・AP1：コンピュータのハードウェアとソフトウェア、及び数学の応用的知識が身についている。
・AP2：ネットワーク、アプリケーションプログラミング、情報処理に関する応用的知識が身についている。
・AP3：コンピュータに関わる工学的な課題を論理的に理解し、的確に判断することができる。
・AP4：技術者としての倫理観と専門知識を有し、社会に対する責務を理解している。
・AP5：各分野で利用されているプログラミング言語を用いて、実用的なプログラミングができる。
・AP6：自然科学､社会科学､人文科学等の分野において､情報処理技術を幅広く活用することができる。
・AP7：様々な課題に対して論理的な思考を簡単な文章で表現することができる。
・AP8：研究成果を発信するために必要な論文作成能力及びプレゼンテーション能力を有している。
・AP9：最新の情報知識、技術知識の概要を理解し、その応用方法を説明できる。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した情報学研究科情報学専攻博士後期課程で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP3,4,6,7,9）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5,6,7,8,9）に示す能力・資質を評価します。

経済学研究科

応用経済学専攻

修士課程

- AP1：金融・経済や財務・会計に関する基礎的知識を有する人。
- AP2：経済学や商学に立脚した自らの研究テーマを設定することができる人。
- AP3：自らの考えを論理的かつ的確に表現し、他者に伝えることができるコミュニケーション能力を有する人。
- AP4：グローカル化する社会や多様化する組織の中で、大学院での研究を活かし、高度職業人となる等積極的に社会貢献を行う意欲を有する人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した経済学研究科応用経済学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

大学院進学計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP3,4）に示す能力・資質を評価します。

教育学研究科

教育学専攻

①　博士前期課程

- AP1：学部教育で培った能力を発展させ、学校教育の課題の解決に意欲のある人。
- AP2：教科・教科教育や発達・学習に関する諸問題を論理的に考察しようとする人。
- AP3：教育経験を省察し、さらに高度な専門的能力、資質を探求しようとする人。
- AP4：子どもの理解や、授業実践力をより高める意欲のある人。
- AP5：教育・保育現場における課題意識を持っている人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した教育学研究科教育学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質

を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（英語・専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP2,3）に示す能力・資質を評価します。

② 博士後期課程

・AP1：教育学に関して、高度な専門的知識を持ち、創造性豊かな優れた研究能力を持つ研究者を目指す人。
・AP2：教育学に関して、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者を目指す人。
・AP3：生涯学習として教育学を研究し、その知識や能力を知識基盤社会で役立てたいと考える人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した教育学研究科教育学専攻博士後期課程で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（英語・専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2）に示す能力・資質を評価します。

心理学研究科

心理学専攻

① 博士前期課程

・AP1：心理学の諸領域に関する幅広い基礎知識を有し、適切なデータ収集及び解析方法を理解できる人。
・AP2：国内外の学術論文を読み、その内容を把握できる人。
・AP3：人間の基本的な行動メカニズムや現代社会が抱える諸問題に関心を持ち、心理学の専門的立場から、それらの問題解決に向けた研究を行える人。
・AP4：研究者あるいは実践家として、学術や社会の発展に貢献できる人。
・AP5：実証的・科学的な心理学研究を遂行するために必要な一連の研究技法を身に付け、得られた知見を学術論文としてまとめ、的確に発信できる人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した心理学研究科心理学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（英語・専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,5）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により､「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

公募制推薦入学試験における評価方法と評価基準

公募制推薦入学試験では、アドミッションポリシーに示した心理学研究科心理学専攻で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により､「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（英語）により､「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,5）に示す能力・資質を評価します。

② 博士後期課程

- AP1：心理学の諸領域に関する専門知識を有し、各領域における近年の研究動向について理解できる人。
- AP2：国内外の学術論文の内容を理解し、研究の潮流を見定め、その中に自らの研究課題を位置づけられる人。
- AP3：人間の基本的な行動メカニズムや現代社会が抱える諸問題に深い関心を持ち、心理学の専門的立場から、それらの問題解決に向けた研究を行い続けることができる人。
- AP4：研究者として、研究成果を学界ならびに社会に還元し、学術や社会の発展に貢献できる人。
- AP5：実証的・科学的な心理学研究を遂行するために必要な一連の研究技法を身に付け、得られた知見を学術論文としてまとめ、的確に発信できる人。

一般入学試験における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した心理学研究科心理学専攻博士後期課程で学修及び研究を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（英語・専門科目）により､「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,5）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により､「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❷思考・判断」「❸関心・意欲・態度」「❹知識・理解・表現」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP1,2,3,4,5）に示す能力・資質を評価します。

建築学研究科

建築学専攻

修士課程

・AP1：建築学に関する学士課程の基礎学力を有している人。
・AP2：技術者としての社会的責務を常に考え、適切な判断により行動できる人。
・AP3：社会的問題に関心を持ち、フィールド調査や実験を通して研究し、問題を解決する意欲を有する人。
・AP4：設計や研究の正しい方向を見定め、具体的な計画を立案し、主体的かつ能動的に行動できる人。
・AP5：自らが専門とする建築学分野に関する知見を、正しく、的確に表現できる人。

一般入学試験 における評価方法と評価基準

一般入学試験では、アドミッションポリシーに示した建築学研究科建築学専攻で研究または設計を進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

研究計画書により、「5つの能力・資質」のうち「❶課題発見・解決」「❸関心・意欲・態度」を基準として、アドミッションポリシー（AP3,4）に示す能力・資質を評価します。

筆記試験（専門科目）により、「5つの能力・資質」のうち「❹知識・理解・表現」を基準として、アドミッションポリシー（AP1）に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「5つの能力・資質」のうち「❷思考・判断」「❺技術・技能」を基準として、アドミッションポリシー（AP2,5）に示す能力・資質を評価します。

募集要項

博士前期課程／修士課程

試験内容一覧

［凡例］　○：試験あり　　斜線：試験なし　　網掛け：受け入れなし

			入試区分	一　般			一般（社会人特別枠）	公募制推薦	
			実施時期	1期：9月 2期：2月※			1期：9月 2期：2月	1期：9月	
			試験内容	英語	専門科目	面接	面接	英語	面接
研究科	専　攻								
理工学研究科	物理学専攻			○	○	○	○		
	化学専攻			○	○	○	○		
	機械工学専攻			○	○	○	○		
	電気工学専攻			／	○	○	○		
	環境システム学専攻			○	○	○	○		
人文学研究科	国際コミュニケーション専攻			／	／	○	○		
情報学研究科	情報学専攻			／	／	○			
経済学研究科	応用経済学専攻			／	／	○			
教育学研究科	教育学専攻			○	○	○			
心理学研究科	心理学専攻	一般心理学コース		○	○	○		○	○
		臨床心理学コース		○	○	○		○	○
建築学研究科	建築学専攻			／	○	○	○		

※一般入学試験2期は研究科により試験日程が異なります。詳細はP.17「入学試験日程」をご参照ください。

一般入学試験（１期・２期）

〈博士前期課程／修士課程〉

１．募集専攻及び募集人員

研究科	専　攻		入学定員 ※	募集人員
理工学研究科	物理学専攻		10名	若干名
	化学専攻		10名	
	機械工学専攻		10名	
	電気工学専攻		10名	
	環境システム学専攻		5 名	
人文学研究科	国際コミュニケーション専攻		10名	
情報学研究科	情報学専攻		7 名	
経済学研究科	応用経済学専攻		10名	
教育学研究科	教育学専攻		10名	
心理学研究科	心理学専攻	一般心理学コース	15名	
		臨床心理学コース		
建築学研究科	建築学専攻		5 名	

※　入学定員は、各入学試験区分募集人員の合計人数

2．出願資格

次の（1)～(9）いずれかに該当する者。なお、外国籍の方は、P.51の〔特記事項〕に記載のある出願資格も満たすこと。

（1） 大学を卒業した者又は2026年３月までに卒業見込みの者。

（2） 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2026年３月までに授与される見込みの者。

（3） 外国において、学校教育（日本において、外国の大学が行う通信教育を履修する場合も含む）における16年の課程を修了した者、又は2026年３月までに修了見込みの者。

（4） 日本において、文部科学大臣が指定した外国大学日本校の16年の課程を修了した者、又は2026年３月までに授与される見込みの者。

（5） 外国の大学等において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士学位に相当する学位を授与された者。

（6） 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者。

(7) 大学に３年以上在学し、学士の学位に相当する学位を有する、又は取得見込みの者で当該研究科委員会において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者。

(8) 国内外の大学、研究機関又は企業等において、２年以上の研究歴や実務経験があり、当該研究科委員会において、その成果が学士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者と認められる者で、入学時において22歳に達する者。

(9) その他研究科委員会において、大学を卒業したと同等以上の学力があると認めた者で、満22歳に達する者。

→ 入学資格審査が必要です。P.51の〔特記事項〕を確認してください。

３．入学試験日程

		内　容	日　程	備　考
1期	全研究科	出願期間	2025年８月21日(木) ～ ８月29日(金) ※必着	・国内は簡易書留速達郵便にて郵送してください。 ・窓口で提出する場合は、出願期間締切日の17：00までに提出してください。
		試験日	2025年９月27日(土)	
		合格発表日	2025年10月６日(月) ９：00	合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。また、本学公式ウェブサイト上に合格者の受験番号を公開します。 ※掲示による合格発表は行いません。
		入学手続締切日	2025年10月24日(金)	
2期	理工学研究科 人文学研究科 情報学研究科 経済学研究科 教育学研究科 建築学研究科	出願期間	2026年１月30日(金) ～ ２月９日(月) ※必着	・国内は簡易書留速達郵便にて郵送してください。 ・窓口で提出する場合は、出願期間締切日の17：00までに提出してください。
		試験日	2026年２月26日(木)	
		合格発表日	2026年３月７日(土) ９：00	合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。また、本学公式ウェブサイト上に合格者の受験番号を公開します。 ※掲示による合格発表は行いません。
		入学手続締切日	2026年３月18日(水)	
	心理学研究科	出願期間	2026年１月14日(水) ～ １月22日(木) ※必着	・国内は簡易書留速達郵便にて郵送してください。 ・窓口で提出する場合は、出願期間締切日の17：00までに提出してください。
		試験日	2026年２月６日(金)	
		合格発表日	2026年２月12日(木) ９：00	合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。また、本学公式ウェブサイト上に合格者の受験番号を公開します。 ※掲示による合格発表は行いません。
		入学手続締切日	2026年３月18日(水)	

4 -1．選抜方法・試験時間

・それぞれの試験科目と研究計画書で判定します。各試験科目、研究計画書はそれぞれ100点満点です。試験科目が３科目の専攻は研究計画書を加えて400点満点、試験科目が２科目の専攻は研究計画書を加えて300点満点、試験科目が1科目の専攻は研究計画書を加えて200点満点となります。ただし、教育学専攻のみ、英語（100点）、専門科目（100点）、面接（120点）、研究計画書（80点）となります。
・機械工学専攻は、TOEIC®スコアを提出した場合、TOEIC®スコアを英語試験の得点として換算したものを使用します。未提出者の場合は、本学の英語試験の得点を使用します。心理学専攻は本学の英語を受験した上で、TOEIC®スコアを英語試験の得点として換算する事が可能です。
・面接の開始時刻は、受験者数及び各人の受験番号により異なります。
・所定の試験科目（英語、専門科目、面接）を欠席した者は、合否判定の対象となりません。

●理工学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
物理学専攻 化学専攻 機械工学専攻 環境システム学専攻	９：50～	注意事項説明
	10：00～11：00	**英語** 注）語学冊子辞書持込可（電子辞書は不可） 機械工学専攻受験者はTOEIC®スコアの未提出者のみ受験すること。
物理学専攻 化学専攻 機械工学専攻 電気工学専攻 環境システム学専攻	11：20～	注意事項説明
	11：30～12：30	**専門科目** 注）関数電卓持込可
	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

●人文学研究科

【一般入学試験　1期】

専　攻	時　間	試験科目等
国際コミュニケーション専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**（オンライン形式のみ）※

※国際コミュニケーション専攻の一般入学試験１期は面接がオンライン形式のみとなります。オンライン形式の実施方法はP.19の「面接試験（オンライン）の実施方法」をご確認ください。

【一般入学試験　2期】

専　攻	時　間	試験科目等
国際コミュニケーション専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**（対面形式のみ）※

※国際コミュニケーション専攻の一般入学試験２期は面接が対面形式のみとなります。

●情報学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
情報学専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**※ ・プレゼンテーション（学部卒業研究の内容について／10分程度）を含む。詳細は、指導希望教員に確認してください。

※情報学専攻は面接を対面形式かオンライン形式か選択することができます。オンライン形式の実施方法は以下の「面接試験（オンライン）の実施方法」をご確認ください。

【面接試験（オンライン）の実施方法】

1．使用するWeb 会議システムは「Zoom」とします。
2．試験日前日までにZoomの接続テストを行います。
3．面接実施前に、本人確認として、受験票を画面上に提示していただきます。また、電話・メール確認を行う場合がありますので、連絡をとれるようにしておいてください（連絡する際は、出願書類に記載の電話番号・メールアドレスに連絡します）。
4．実施方法の詳細については、出願後にメールにて連絡します（出願書類に記載のメールアドレス宛）。ご不明な点がありましたら、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。

【注意事項】

1．通信接続テスト・面接試験当日における以下の行為を堅く禁じます。
・他者によるなりすまし受験やカンニング行為等、他の志願者との公平性を欠く行為
・Web 会議システム利用中の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為
2．「1」に記載する行為が発覚した場合、志願者の当該年度における明星大学の入学試験結果を無効とすることがあります。
3．「2」に該当し、受験が無効となった場合においても、入学検定料を返還しません。また、入学後に不正が判明した場合は、入学を取り消し、入学検定料、入学金・学費・その他の費用は返還しません。
4．面接試験（オンライン）を受験するにあたっての準備費用（通信環境の整備費用・通信機器等の購入費用等）について、本学は一切負担しません。
5．通信接続テスト、面接試験において周囲に他者のいない、静寂な受験環境の確保に努めてください。静寂な受験環境が認められない場合、試験実施不可として当該志願者を欠席とみなすことがあります。
6．通信接続テスト、面接試験当日において、当該志願者のインターネット接続環境や関連する機材環境、その他不測の事態により面接試験の実施が困難と判断される場合、当該志願者を欠席とみなすことがあります。
7．志願者が「6」に該当し、受験が認められない場合においても、入学検定料は返還しません。

●経済学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
応用経済学専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

●教育学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
教育学専攻	9 ：50～	注意事項説明
	10：00～11：00	**英語** 注）語学冊子辞書持込可（電子辞書は不可）
	11：20～	注意事項説明
	11：30～12：30	**専門科目**
	13：50～	注意事項
	14：00～	**面接**

●心理学研究科

【一般入学試験　1 期】

専　攻	時　間	試験科目等
心理学専攻	9 ：50～	注意事項説明
	10：00～11：00	**専門科目** 試験内容は公認心理師試験の出題基準に準拠する。
	11：20～	注意事項説明
	11：30～12：30	**英語** 注）語学冊子辞書持込可（電子辞書は不可） TOEIC®スコアの提出有無に関わらず全員受験すること。
	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

【一般入学試験　2 期】

専　攻	時　間	試験科目等
心理学専攻	9 ：50～	注意事項説明
	10：00～11：00	**英語** 注）語学冊子辞書持込可（電子辞書は不可） TOEIC®スコアの提出有無に関わらず全員受験すること。
	11：20～	注意事項説明
	11：30～12：30	**専門科目** 試験内容は公認心理師試験の出題基準に準拠する。
	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

●建築学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
建築学専攻	11：20～	注意事項説明
	11：30～12：30	**専門科目** 注）関数電卓持込可
	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

4 -2．社会人特別枠

一般入試（1期・2期）の修士課程・博士前期課程においては、一部の専攻にて社会人特別枠を設けており、通常の受験者とは別枠で判定を行います。

下記（2）の出願資格を満たす方は出願が可能となり、受験時に「英語」「専門科目」「小論文」等の筆記試験を課している専攻については、当該試験科目が免除となります。

（1）募集専攻

研究科	専　攻	募集人員
理工学研究科	物理学専攻	若干名
	化学専攻	
	機械工学専攻	
	電気工学専攻	
	環境システム学専攻	
人文学研究科	国際コミュニケーション専攻	
建築学研究科	建築学専攻	

（2）出願資格

P.16の〔2．出願資格〕を満たし、かつ「企業・官公庁・研究機関・団体等」において、2026年3月までに通算2年以上の実務経験を有する者。

（3）選抜方法・試験時間

・それぞれの試験科目と研究計画書で判定します。各試験科目、研究計画書はそれぞれ100点満点です。
・面接の開始時刻は、受験者数及び各人の受験番号により異なります。
・所定の試験科目を欠席した者は、合否判定の対象となりません。

●理工学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
物理学専攻 化学専攻 機械工学専攻 電気工学専攻 環境システム学専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

●人文学研究科

【一般入学試験　1 期】

専　攻	時　間	試験科目等
国際コミュニケーション専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**（オンライン形式のみ）※

※国際コミュニケーション専攻の一般入学試験 1 期は面接がオンライン形式のみとなります。オンライン形式の実施方法はP.19の「面接試験（オンライン）の実施方法」をご確認ください。

【一般入学試験　2 期】

専　攻	時　間	試験科目等
国際コミュニケーション専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**（対面形式のみ）※

※国際コミュニケーション専攻の一般入学試験 2 期は面接が対面形式のみとなります。

●建築学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
建築学専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

（4）出願書類

社会人特別枠にて出願される方は、P.23〔5．出願書類〕に加え、以下の書類の提出が必須となります。

出願書類		備　考
⑫	職務等経歴書	**【社会人特別枠で出願の方のみ】** 本学所定用紙 ※理工学研究科は卒業論文要旨含む
⑬	在職証明書	**【社会人特別枠で出願の方のみ】** 在職／在職期間を証明できるもの

5．出願書類

本学所定用紙は、本学公式ウェブサイトからプリントアウトしてください。
（https://www.meisei-u.ac.jp/admission/gs/gs_bosyu.html）

※いずれの書類もクリップ・ホチキス留めは不要です。

出願書類		備　考
①	入学志願票	本学所定用紙
②	履歴書	本学所定用紙 ※教員免許状を取得（見込みも含む）している場合は、履歴書の資格欄に記載してください。
③	研究計画書／ 大学院進学計画書	本学所定用紙（表紙） ※P.26～28〔記述要領〕を確認してください。
④	卒業（見込）証明書	出身大学が作成し、発行から6 ヶ月以内のもの ※中国の大学を卒業された方は、P.51～54〔特記事項〕に記載のある内容も確認してください。
⑤	成績証明書	
⑥	学業等評価書、 又は自己推薦書	**【経済学研究科のみ】** ※面接の参考資料とします。 本学所定用紙 ※大学の教員から学業等評価書を得てください。どうしても大学の教員による学業等評価書を得られない場合は、自己推薦書を提出してください。
⑦	臨床実践計画書	**【心理学研究科心理学専攻　一般心理学コース志願者で公認心理師資格の取得を希望する者、及び臨床心理学コース志願者】** ※P.26～28〔記述要領〕を確認してください。 ※面接の参考資料とします。
⑧	TOEIC®の公式認定証（公開テスト）	**【理工学研究科機械工学専攻】【心理学研究科心理学専攻】** 試験日より2年以内のスコアを提出してください。 ※TOEIC®スコアによる英語試験の得点換算を希望する志願者のみ ※P.24～26〔注意事項〕を参照 ※コピー可。デジタル公式認定証も可。
⑨	日本留学試験成績確認書、又は日本語能力試験（N1）合格の証明書	**【外国籍の方のみ】** ※P.51〔特記事項〕にある「外国籍の方の出願資格」（2）の①又は②に該当する者。 ※コピー可。
⑩	大学院「授業料後払い制度」申請書	**【希望者のみ】** 本学所定用紙 詳細は、P.24『●「大学院修士課程 授業料後払い制度」をご利用希望の方』をご確認ください。

※在留資格「留学」で出願する方のみ、以下の書類を出願前相談時にご提出いただきます。

提出書類		備　考
⑪	安全保障輸出管理に関わる確認票	**【在留資格が「留学」の方のみ】** 本学所定用紙 ※P.24『●安全保障輸出管理について（※留学生の方のみ）』 P.24～26〈研究科毎の注意事項〉 を確認の上、出願前相談時に教員に提出してください。

●「大学院修士課程 授業料後払い制度」をご利用希望の方

国の施策による「大学院修士課程 授業料後払い制度」にて、所定の手続きと、一定の条件（審査要）により、入学時納入金の授業料を含めた在学中の授業料（施設維持費・教育充実費を除く）を国が立て替えた上での後払いとすることが可能です。

・明星大学公式ウェブサイト「大学院における授業料後払い制度について」
https://www.meisei-u.ac.jp/2025/2025042801.html
※上記サイトより『大学院「授業料後払い制度」申請書』がダウンロード可能です。

「大学院における授業料後払い制度について」

●安全保障輸出管理について（※留学生の方のみ）

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を妨げず、かつ学術研究の健全な発展に寄与することを目的として、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。

そのため、留学生（在留資格「留学」）の方には、出願前に「安全保障輸出管理に関わる確認票」の提出をお願いしております。

下記〈研究科毎の注意事項〉を確認の上、指導を希望する教員と相談し、「安全保障輸出管理に関わる確認票」を提出してください。

【注意事項】※出願前に必ずご確認ください

〈全研究科共通の注意事項〉

（1） 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
（2） 出願書類は、日本語又は英語で作成されたものを提出してください。これ以外の言語で作成されている場合には、公的機関で証明を受けた日本語の訳文を添付してください。
（3） 婚姻等により証明書と氏名が異なる場合には、戸籍抄本（写しでも可）を提出してください。

〈研究科毎の注意事項〉

●理工学研究科　●建築学研究科

出願前に希望する指導教員と連絡をとり、相談の上、入学志願票の所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。また、第二希望がある場合も連絡をとり、相談の上、所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。連絡先は、本学公式ウェブサイトの学部・大学院紹介ページ、デジタルパンフレットをご確認ください。

※**留学生（在留資格「留学」）の方のみ**、出願前相談時にP.23の提出書類⑪を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

●理工学研究科　機械工学専攻

TOEIC®スコアの提出があった志願者については、下記の換算表による得点を合否判定に使用します。

TOEIC®スコア	換算値（100点満点）
850以上	100点
845 ～ 750	90点
745 ～ 650	80点
645 ～ 550	70点
545 ～ 450	60点
445 ～ 350	50点
345以下	40点

●人文学研究科

出願前に希望する指導教員と連絡をとり、研究テーマについて相談の上、入学志願票の所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。また、第二希望がある場合も連絡をとり、相談の上、所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。

（問い合わせ先）

gad-daigakuin-jinbun@ml.meisei-u.ac.jp

以下の指定された言語で研究計画書を作成してください。

面接は研究計画書と同一言語で行います。

日本国籍の者	英語または中国語
外国籍の者	日本語または英語

※**留学生（在留資格「留学」）の方のみ**、出願前相談時にP.23の提出書類⑪を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

●情報学研究科

出願前に希望する指導教員と連絡をとり、研究テーマについて相談の上、入学志願票の所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。また、第二希望がある場合も、相談の上、所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。

（問い合わせ先）

gad-daigakuin-jho@ml.meisei-u.ac.jp

※**留学生（在留資格「留学」）の方のみ**、出願前相談時にP.23の提出書類⑪を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

●経済学研究科

入学志願票の所定欄に「指導希望教員氏名」を必ず第二希望まで記入してください。指導教員については、「経済学研究科ウェブサイト」における「履修について」の「履修要件」の「経済学研究演習概要」を参考にしてください。

（参照先）

※URL：https://keizai.meisei-u.ac.jp/econgs/

※**留学生（在留資格「留学」）の方のみ、出願前に希望する指導教員と連絡をとり**、P.23の提出書類⑪を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

（問い合わせ先）

gad-of-eco@ml.meisei-u.ac.jp

●教育学研究科

出願前に希望する指導教員と連絡をとり、入学志願票の所定欄に、「指導希望教員氏名」を記入してください。

（問い合わせ先）

gad-daigakuin-kyoiku@ml.meisei-u.ac.jp

※**留学生（在留資格「留学」）の方のみ**、出願前相談時にP.23の提出書類⑪を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

●心理学研究科

① 出願時に「一般心理学コース」、「臨床心理学コース」のいずれかを選択してください。臨床心理士受験資格を取得できるのは「臨床心理学コース」の修了生のみです。また、臨床心理士受験資格に関わる科目の一部には、「一般心理学コース」の学生が履修できないものがあります。公認心理師受験資格については、「一般心理学コース」、「臨床心理学コース」のいずれのコースでも、実習を含む所定科目を修得して課程を修了することで取得できます。
※公認心理師受験資格を取得するには、大学学部等において公認心理師となるために必要な省令で定める科目を修得している必要があります。

② 「一般心理学コース」を志望し公認心理師資格の取得を希望しない志願者は、入学志願票の「指導希望教員氏名」欄に、下記のURLに記載されている博士前期課程研究指導教員のなかから、研究指導を希望する教員名を第一希望・第二希望共記入してください。

③ 「一般心理学コース」を志望し公認心理師資格の取得を希望する志願者、及び「臨床心理学コース」志願者は、入学志願票の「指導希望教員氏名」欄、及び「実習指導希望教員氏名」欄に、下記のURLに記載されている博士前期課程研究指導教員、及び臨床実習指導教員のなかから、研究指導と実習指導を希望する教員名を第一希望・第二希望共それぞれ記入してください。
※URL：https://ebook.meisei-u.ac.jp/meiseiuniv/shinri-grad/
※留学生（在留資格「留学」）の方のみ、出願前に希望する指導教員と連絡をとり、P.23の提出書類⑪を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

（問い合わせ先）
gad-psy-staff@ml.meisei-u.ac.jp

【TOEIC®スコアの換算表】
TOEIC®スコアの提出があった志願者については、英語試験の得点と、TOEIC®スコアの下記の換算表による得点のうち、高い方の得点を合否判定に使用します。

TOEIC®スコア	換算値（100点満点）
990	100点
985 ～ 860	90点
855 ～ 730	80点
725 ～ 600	70点
595 ～ 470	60点
465 ～ 340	50点
335 ～ 10	0点

【記述要領】

〈全研究科共通の記述要領〉
・可能な限りワードプロセッサー（Microsoft Word等）にて作成してください。
・ページ設定は以下の通り設定してください。
用紙：A4サイズ、片面記載、縦置き横書き
1行字数：全角40字　　1ページ行数：30行　　フォント・サイズ：11

〈研究科毎の記述要領〉

●理工学研究科

研究題目、研究背景と目的、研究方法（できるだけ具体的に）、期待される成果等を含め2,000字以内で記述してください。

●人文学研究科・教育学研究科

「Ⅰ．過去の研究概要」、「Ⅱ．将来の研究計画」について、それぞれ以下の要件を満たす内容を記述してください。

Ⅰ．過去の研究概要（卒業論文題目及び内容）

以下の項目について、2,000字程度で具体的に記述すること。

主題論点とその研究の目的、方法、結果、考察、参考にした論文等

※ただし、以下に該当する場合は、それぞれの指示に従って記述すること。

・卒業論文がない場合、作成中の場合

①．卒業論文に代わるゼミなどで、学習・研究があればそれについて上記の要領で記述すること。

②．①に該当するものがない場合は、本学人文学研究科・教育学研究科入学後の研究計画とかかわって特に関心を持って研究してきたことについて、上記の要領で記述すること。

・修士論文（又は研究生論文）がある場合は、それについても上記の要領で記述すること。

Ⅱ．将来の研究計画（入学後の研究主題及び内容）

以下の項目について、2,000字程度で具体的に記述すること。

研究目的、研究計画・方法、研究の特色、当該研究についての内外の研究状況等

※その他の記述上の注意事項

上記Ⅰ、Ⅱについてそれぞれ表題として、1行目に「Ⅰ．過去の研究概要」、「Ⅱ．将来の研究計画」と明記し、さらに 2 行目以降に題目・主題を記述し、 1 行空けてから内容を記述すること。

・人文学研究科

記述時に使用する言語は、P.25で指定した言語とします。

●情報学研究科

研究題目、研究内容、研究日程、研究の方法論、研究の新規性等を2,000字以内で記述してください。

●経済学研究科

Ⅰ．これまでの学修状況

大学院における研究に向け、学修してきたことについて記述してください（卒業論文の内容、資格取得のための学修等）。また、これまでに実務経験を有する物は、研究に関連した職務経験や内容も記述してください。

Ⅱ．将来の研究計画

研究テーマについて、研究目的及び研究方法等について記述してください。

Ⅲ．将来の進路希望

大学院修了後の進路について、展望を述べてください。

●心理学研究科

〈研究計画書の記述要領〉

「Ⅰ．過去の研究概要」、「Ⅱ．将来の研究計画」について、それぞれ以下の要件を満たす内容を記述してください。

Ⅰ．過去の研究概要（卒業論文題目および内容）

以下の項目について、2,000 字程度で具体的に記述すること。

主題論点とその研究の目的、方法、結果、考察、参考にした論文等

※ただし、以下に該当する場合は、それぞれの指示に従って記述すること。

・卒業論文がない場合、作成中の場合

①．卒業論文に代わるゼミなどで、学習・研究があればそれについて上記の要領で記述すること。

②．①に該当するものがない場合は、本研究科入学後の研究計画とかかわって特に関心を持って研究してきたことについて、上記の要領で記述すること。

・修士論文（又は研究生論文）がある場合は、それについても上記の要領で記述すること。

Ⅱ．将来の研究計画（入学後の研究主題および内容）

以下の項目について、2,000字程度で具体的に記述すること。

研究目的、研究計画・方法、研究の特色、当該研究についての内外の研究状況等

※その他の記述上の注意事項

・上記Ⅰ、Ⅱについてそれぞれ表題として、１行目に「Ⅰ．過去の研究概要」、「Ⅱ．将来の研究計画」と明記し、さらに 2 行目以降に題目・主題を記述し、1行空けてから内容を記述すること。

〈臨床実践計画書の記述要領〉

以下の項目について、2,000 字程度で具体的に記述してください。

・臨床実践を志望する動機、関心ある臨床領域、将来の臨床実践の計画、主として習得を希望する臨床技法、臨床に関連する活動経験等がある場合はそれを含む。

●建築学研究科

研究計画書として、Ⅰ．これまでの研究または設計の概要、Ⅱ．これからの研究または設計の計画について、以下の要件を満たす内容を2,000字以内で記述してください。

Ⅰ．これまでの研究または設計の概要

卒業研究もしくは卒業設計の概要または計画について記述してください。また、ゼミ活動などであなた自身が興味を持って積極的に取り組んだことについて記述してください。

Ⅱ．これからの研究または設計の計画

大学院進学後どのようなテーマについて研究または設計を行いたいか、現時点でのあなたの考えを記述してください。

また、将来的にはどのような職業を目指しているかについて、現時点での計画を記述してください。

６．入学検定料、出願方法、受験票の送付、試験会場、受験上の注意、入学手続

P.45〜の「共通事項」をご確認ください。

心理学研究科　公募制推薦入学試験（１期）

〈博士前期課程〉

１．募集専攻及び募集人員

研究科	専　攻		入学定員 ※	募集人員
心理学研究科	心理学専攻	臨床心理学コース	15名	若干名
		一般心理学コース		

※　入学定員は、各入学試験区分募集人員の合計人数

２．出願資格

次の（1）～（2）いずれかに該当する者。

(1) 明星大学以外の日本国内の大学を2026年３月に卒業見込みの者で、かつ、その卒業する大学の学部において、これまでに修得した公認心理師法定科目のGPAが3.2以上で、指導教員からの推薦書がある者。

(2) 明星大学以外の日本国内の大学を卒業後２年以内であり、かつ、その卒業した大学で公認心理師法定科目をすべて修得済みで、全法定科目のGPAが3.2以上で、指導教員からの推薦書がある者。

→ ※大学卒業時に、すべての法定科目（もしくは、必要な読み替え科目）を修得できていない場合は、入学を認めない。

※公認心理師法定科目とは、公認心理師法施行規則附則第3条に規定される科目を指す。また、2017年９月14日までに大学へ入学した者については、その卒業する大学が定める読み替え科目で代替する。

※本入学試験は専願であるため入学辞退は認めない。

３．入学試験日程

内　容	日　程	備　考
出願期間	2025年８月21日（木）～８月29日（金）※必着	・簡易書留速達郵便にて郵送してください。 ・窓口で提出する場合は、出願期間締切日の17：00までに提出してください。
試験日	2025年９月27日（土）	
合格発表日	2025年10月６日（月）９：00	合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。 また、本学公式ウェブサイト上に合格者の受験番号を公開します。 ※掲示による合格発表は行いません。
入学手続締切日	2025年10月24日（金）	

4．選抜方法・試験内容

・英語、面接、研究計画書をそれぞれ100点満点（合計300点満点）で判定します。本学の英語を受験した上で、TOEIC®スコアを英語試験の得点として換算する事が可能です。
専門科目については免除とします。

専　攻	時　間	試験科目等
心理学専攻	11：20～	注意事項説明
	11：30～12：30	**英語** 注）語学冊子辞書持込可（電子辞書は不可） TOEIC®スコアの提出にかかわらず全員受験すること。
	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

5．出願書類

本学所定用紙は、本学公式ウェブサイトからプリントアウトしてください。
（https://www.meisei-u.ac.jp/admission/gs/gs_bosyu.html）

※いずれの書類もクリップ・ホチキス留めは不要です。

出願書類		備　考
①	入学志願票	本学所定用紙
②	履歴書	本学所定用紙
③	研究計画書／ 大学院進学計画書	本学所定用紙（表紙） ※P.32〔記述要領〕を確認してください。
④	卒業（見込）証明書	出身大学が作成し、発行から 6 ヶ月以内のもの
⑤	成績証明書	
⑥	単位修得証明書	本学所定用紙
⑦	指導教員の推薦書	本学所定用紙 出身大学在籍時の指導教員が記載したもの。 ※既卒者は当時の指導教員へ記載を依頼すること。記載内容についてはP.31の〔注意事項〕(5）を参照。
⑧	臨床実践計画書	※P.32〔記述要領〕を確認してください。 ※面接の参考資料とします。
⑨	TOEIC®の公式認定証（公開テスト）	試験日より2年以内のスコアを提出してください。 ※TOEIC®スコアによる英語試験の得点換算を希望する志願者のみ。 ※コピー可。デジタル公式認定証も可。
⑩	大学院「授業料後払い制度」申請書	**【希望者のみ】** 本学所定用紙 詳細は、P.31『●「大学院修士課程 授業料後払い制度」をご利用希望の方』をご確認ください。

●「大学院修士課程 授業料後払い制度」をご利用希望の方

国の施策による「大学院修士課程 授業料後払い制度」にて、所定の手続きと、一定の条件（審査要）により、入学時納入金の授業料を含めた在学中の授業料（施設維持費・教育充実費を除く）を国が立て替えた上での後払いとすることが可能です。

・明星大学公式ウェブサイト「大学院における授業料後払い制度について」
https://www.meisei-u.ac.jp/2025/2025042801.html
※上記サイトより『大学院「授業料後払い制度」申請書』がダウンロード可能です。

「大学院における授業料後払い制度について」

【注意事項】

（1） 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

（2） 出願書類は、日本語で作成してください。

（3） 婚姻等により証明書と氏名が異なる場合には、戸籍抄本（写しでも可）を提出してください。

（4） 「一般心理学コース」、「臨床心理学コース」の選択について

① 出願時に「一般心理学コース」、「臨床心理学コース」から志望するコースを選択してください。臨床心理士受験資格を取得できるのは「臨床心理学コース」の修了生のみです。また、臨床心理士受験資格に関わる科目の一部には、「一般心理学コース」の学生が履修できないものがあります。公認心理師受験資格については、「一般心理学コース」、「臨床心理学コース」のいずれのコースでも、実習を含む所定科目を修得して課程を修了することで取得できます。
※公認心理師受験資格を取得するには、大学学部等において公認心理師となるために必要な省令で定める科目を修得している必要があります。

② 入学志願票の「指導希望教員氏名」欄、及び「実習指導希望教員氏名」欄に、下記のURLに記載されている博士前期課程研究指導教員、及び臨床実習指導教員のなかから、研究指導と実習指導を希望する教員名を第一希望・第二希望共それぞれ記入してください。
URL：https://ebook.meisei-u.ac.jp/meiseiuniv/shinri-grad/

（5） 指導教員の推薦書について

志願者が大学在籍中に指導を受けた教員（指導教員）が、志願者の①修学面、②人物面、③心理職への資質・適性の面、それぞれに対する評価を、その根拠となる事実とともに、本学所定用紙へ記載してください。なお、指導教員が執筆できない場合は、適切な人物に推薦書を執筆してもらってください。その際、理由とともに、執筆者と志願者との関係を記してください。

（6） TOEIC®スコアの得点換算について

【TOEIC®スコア換算表】

TOEIC®スコアの提出があった志願者については、英語試験の得点と、TOEIC®スコアの下記の換算表による得点のうち、高い方の得点を合否判定に使用します。

TOEIC®スコア	換算値（100点満点）
990	100点
985 ～ 860	90点
855 ～ 730	80点
725 ～ 600	70点
595 ～ 470	60点
465 ～ 340	50点
335 ～ 10	0点

【記述要領】

〈研究計画書の記述要領〉

「Ⅰ．過去の研究概要」「Ⅱ．将来の研究計画」について、それぞれ以下の要件を満たす内容を記述してください。

・ワードプロセッサー（Microsoft Word等）にて作成し、それぞれ、A4サイズ（片面記載、縦置き・横書き、1行字数：全角40字、1ページ行数：30行、フォント・サイズ：11）2枚程度の分量とする。なお、それぞれ表題として、1行目に「Ⅰ．過去の研究概要」「Ⅱ．将来の研究計画」と明記し、2行目以降に内容を記述すること。

Ⅰ．過去の研究概要（卒業論文の題目および内容）

以下の項目について、2,000字程度で具体的に記述すること。

①研究題目、②問題（先行研究のまとめ、目的、意義、仮説）、③方法、④結果、⑤考察、⑥引用文献

なお、研究が終了しておらず、④結果と⑤考察が書けない場合は、現在の進捗状況を記述すること。

※ただし、以下に該当する場合は、それぞれの指示に従って記述すること。

・卒業論文がない場合

① ゼミなどで行った学習や研究があれば、それについて上記の要領で記述すること。

② ①に該当するものがない場合は、本研究科入学後の研究計画とかかわって特に関心を持って考えてきたことについて上記の要領で記述すること。

・修士論文（又は研究生論文）がある場合は、それについても上記の要領で記述すること。

Ⅱ．将来の研究計画（大学院入学後の研究題目および内容）

以下の項目について、2,000字程度で具体的に記述すること。

①研究題目、②問題（先行研究のまとめ、目的、意義、仮説）、③方法、④引用文献

〈臨床実践計画書の記述要領〉

以下の項目について、2,000字程度で具体的に記述してください。

・臨床実践を志望する動機、関心ある臨床領域、将来の臨床実践の計画、主として習得を希望する臨床技法、臨床実践に関連するこれまでの活動経験等がある場合はそれを含む。

６．入学検定料、出願方法、受験票の送付、試験会場、受験上の注意、入学手続

P.45〜の〔共通事項〕をご確認ください。

博士後期課程

試験内容一覧

［凡例］　○：試験あり　　斜線：試験なし　　網掛け：受け入れなし

	入試区分	一　　般				一般 （社会人特別枠）
	実施時期	1期：9月※1 2期：2月※2				2期：2月
	試験内容	英語	専門科目	小論文	面接	面接
研究科	専　攻					
理工学研究科	物理学専攻	○	○		○	○
	化学専攻			○	○	○
	機械工学専攻				○	○
	電気工学専攻		○		○	○
	環境システム学専攻				○	○
人文学研究科	国際コミュニケーション専攻				○	
情報学研究科	情報学専攻※1				○	
教育学研究科	教育学専攻	○	○		○	
心理学研究科	心理学専攻	○	○		○	○

※1 一般入学試験1期は情報学研究科のみ実施します。

※2 一般入学試験2期は研究科により試験日程が異なります。詳細はP.36「入学試験日程」をご参照ください。

一般入学試験（１期・２期）

〈博士後期課程〉

１．募集専攻及び募集人員

研究科	専　攻	入学定員 ※	募集人員
理工学研究科	物理学専攻	5 名	若干名
	化学専攻	5 名	
	機械工学専攻	5 名	
	電気工学専攻	5 名	
	環境システム学専攻	2 名	
人文学研究科	国際コミュニケーション専攻	3 名	
情報学研究科	情報学専攻	3 名	
教育学研究科	教育学専攻	3 名	
心理学研究科	心理学専攻	3 名	

※入学定員は、各入学試験区分募集人員の合計人数

２．出願資格

次の（1）～⑽ いずれかに該当する者。なお、外国籍の方は、P.51の〔特記事項〕に記載のある出願資格も満たすこと。

（1） 修士の学位もしくは専門職学位を得た者、又は2026年３月までに取得見込みの者。

（2） 外国において、修士または専門職学位に相当する学位を授与された者、又は2026年３月までに授与される見込みの者。

（3） 日本において、外国の学校が行う通信教育における授業科目を履修し、修士または専門職学位に相当する学位を授与された者、又は2026年３月までに授与される見込みの者。

（4） 日本において、文部科学大臣が指定した外国大学（大学院相当）日本校の課程を修了し、修士又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は2026年３月までに授与される見込みの者。

（5） 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、又は2026年３月までに授与される見込みの者。

（6） 外国において、学校教育（日本において、外国の大学が行う通信教育を履修する場合も含む）における16年の課程の修了した者、又は2026年３月までに授与される見込みの者で、入学時において24歳に達する者。

(7) 外国の学校、外国大学（大学院相当）日本校又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。

(8) 大学を卒業し、大学や研究所等において２年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。

(9) 国内外の大学、研究機関又は企業等において、優れた研究歴や実務経験を有する者で、当該研究科委員会において、その成果が修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者と認められる者で、入学時において24歳に達する者。

(10) その他研究科委員会において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、満24歳に達する者。

→ 入学資格審査が必要です。P.51の〔特記事項〕をご確認ください。

3．入学試験日程

		内　容	日　程	備　考
1期	情報学研究科	出願期間	2025年８月21日(木) ～８月29日(金) ※必着	・国内は簡易書留速達郵便にて郵送してください。 ・窓口で提出する場合は、出願期間締切日の17：00までに提出してください。
		試験日	2025年９月27日(土)	
		合格発表日	2025年10月６日(月) ９：00	合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。また、本学公式ウェブサイト上に合格者の受験番号を公開します。 ※掲示による合格発表は行いません。
		入学手続締切日	2025年10月24日(金)	
2期	理工学研究科 人文学研究科 情報学研究科 教育学研究科	出願期間	2026年１月30日(金) ～２月９日(月) ※必着	・国内は簡易書留速達郵便にて郵送してください。 ・窓口で提出する場合は、出願期間締切日の17：00までに提出してください。
		試験日	2026年２月26日(木)	
		合格発表日	2026年３月７日(土) ９：00	合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。また、本学公式ウェブサイト上に合格者の受験番号を公開します。 ※掲示による合格発表は行いません。
		入学手続締切日	2026年３月18日(水)	
	心理学研究科	出願期間	2026年１月14日(水) ～１月22日(木) ※必着	・国内は簡易書留速達郵便にて郵送してください。 ・窓口で提出する場合は、出願期間締切日の17：00までに提出してください。
		試験日	2026年２月６日(金)	
		合格発表日	2026年２月12日(木) ９：00	合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。また、本学公式ウェブサイト上に合格者の受験番号を公開します。 ※掲示による合格発表は行いません。
		入学手続締切日	2026年３月18日(水)	

4 -1．選抜方法・試験時間

・それぞれの試験科目と研究計画書で判定します。各試験科目、研究計画書はそれぞれ100点満点です。試験科目が３科目の専攻は研究計画書を加えて400点満点、試験科目が２科目の専攻は研究計画書を加えて300点満点、試験科目が１科目の専攻は研究計画書を加えて200点満点となります。ただし、教育学専攻のみ、英語（100点）、専門科目（100点）、面接（120点）、研究計画書（80点）となります。
・心理学専攻は、本学の英語を受験した上で、TOEIC®スコアを英語試験の得点として換算する事が可能です。
・面接の開始時刻は、受験者数及び各人の受験番号により異なります。
・所定の試験科目（英語、専門科目、小論文、面接）を欠席した者は、合否判定の対象となりません。

●理工学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
物理学専攻	９：50～	注意事項説明
	10：00～11：00	**英語** 注）語学冊子辞書持込可（電子辞書は不可）
物理学専攻 化学専攻 電気工学専攻	11：20～	注意事項説明
	11：30～12：30	・物理学専攻、電気工学専攻 **専門科目** 注）関数電卓持込可 ・化学専攻 **小論文**
物理学専攻 化学専攻 機械工学専攻 電気工学専攻 環境システム学専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接** ※機械工学専攻は、プレゼンテーション（修士研究内容及び博士研究内容について、英語で作成したスライドをもとに15分程度で実施。詳細は、指導希望教員に確認してください。）を含む。

●人文学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
国際コミュニケーション専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**（対面形式のみ）

●情報学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
情報学専攻	13：50 ～	注意事項説明
	14：00 ～	**面接**※ ・プレゼンテーション（博士前期課程の内容について／10分程度）を含む。詳細は、指導希望教員に確認してください。

※情報学専攻は面接を対面形式かオンライン形式か選択することができます。オンライン形式の実施方法は以下の「面接試験（オンライン）の実施方法」をご確認ください。

【面接試験（オンライン）の実施方法】

1．使用するWeb 会議システムは「Zoom」とします。
2．試験日前日までにZoomの接続テストを行います。
3．面接実施前に、本人確認として、受験票を画面上に提示していただきます。また、電話・メール確認を行う場合がありますので、連絡をとれるようにしておいてください（連絡する際は、出願書類に記載の電話番号・メールアドレスに連絡します）。
4．実施方法の詳細については、出願後にメールにて連絡します（出願書類に記載のメールアドレス宛）。ご不明な点がありましたら、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。

【注意事項】

1．通信接続テスト・面接試験当日における以下の行為を堅く禁じます。
・他者によるなりすまし受験やカンニング行為等、他の志願者との公平性を欠く行為
・Web 会議システム利用中の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為
2．「1」に記載する行為が発覚した場合、志願者の当該年度における明星大学の入学試験結果を無効とすることがあります。
3．「2」に該当し、受験が無効となった場合においても、入学検定料を返還しません。また、入学後に不正が判明した場合は、入学を取り消し、入学検定料、入学金・学費・その他の費用は返還しません。
4．面接試験（オンライン）を受験するにあたっての準備費用（通信環境の整備費用・通信機器等の購入費用等）について、本学は一切負担しません。
5．通信接続テスト、面接試験において周囲に他者のいない、静寂な受験環境の確保に努めてください。静寂な受験環境が認められない場合、試験実施不可として当該志願者を欠席とみなすことがあります。
6．通信接続テスト、面接試験当日において、当該志願者のインターネット接続環境や関連する機材環境、その他不測の事態により面接試験の実施が困難と判断される場合、当該志願者を欠席とみなすことがあります。
7．志願者が「6」に該当し、受験が認められない場合においても、入学検定料は返還しません。

●教育学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
教育学専攻	9 ：50～	注意事項説明
	10：00～11：00	**英語** 注）語学冊子辞書持込可（電子辞書は不可）
	11：20～	注意事項説明
	11：30～12：30	**専門科目**
	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

●心理学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
心理学専攻	9：50～	注意事項説明
	10：00～11：00	**英語** 注）語学冊子辞書持込可（電子辞書は不可）TOEIC®スコアの提出有無に関わらず全員受験すること。
	11：20～	注意事項説明
	11：30～12：30	**専門科目**
	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

4 -2．社会人特別枠

一般入試（2期）の博士後期課程においては、一部の専攻にて社会人特別枠を設けており、通常の受験者とは別枠で判定を行います。

下記（2）の出願資格を満たす方は出願が可能となり、受験時に「英語」「専門科目」「小論文」等の筆記試験を課している専攻については、当該試験科目が免除となります。

（1）募集専攻

研究科	専　攻	募集人員
理工学研究科	物理学専攻	若干名
	化学専攻	
	機械工学専攻	
	電気工学専攻	
	環境システム学専攻	
心理学研究科	心理学専攻	

（2）出願資格

P.35の〔2．出願資格〕を満たし、かつ「企業・官公庁・研究機関・団体等」において、2026年3月までに通算2年以上の実務経験を有する者。

（3）選抜方法・試験時間

・それぞれの試験科目と研究計画書で判定します。各試験科目、研究計画書はそれぞれ100点満点です。
・面接の開始時刻は、受験者数及び各人の受験番号により異なります。
・所定の試験科目を欠席した者は、合否判定の対象となりません。

●理工学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
物理学専攻 化学専攻 機械工学専攻 電気工学専攻 環境システム学専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

●心理学研究科

専　攻	時　間	試験科目等
心理学専攻	13：50～	注意事項説明
	14：00～	**面接**

（4）出願書類

社会人特別枠にて出願される方は、P.41〔5．出願書類〕に加え、以下の書類の提出が必須となります。

出願書類		備　考
⑬	職務等経歴書	**【社会人特別枠で出願の方のみ】** 本学所定用紙 ※理工学研究科は卒業論文要旨含む
⑭	在職証明書	**【社会人特別枠で出願の方のみ】** 在職／在職期間を証明できるもの

5．出願書類

本学所定用紙は、本学公式ウェブサイトからプリントアウトしてください。
（https://www.meisei-u.ac.jp/admission/gs/gs_bosyu.html）

※いずれの書類もクリップ・ホチキス留めは不要です。

	出願書類	備　考
①	入学志願票	本学所定用紙
②	履歴書	本学所定用紙 ※教員免許状を取得（見込みも含む）している場合は、履歴書の資格欄に記載してください。
③	研究計画書	本学所定用紙（表紙） ※P.43～44〔記述要領〕を確認してください。
④	修了（見込）証明書	出身大学が作成し、発行から 6 ヶ月以内のもの ※中国の大学を卒業された方は、P.51～54〔特記事項〕に記載のある内容も確認してください。
⑤	成績証明書	
⑥	修士論文要旨	**【理工学研究科のみ】** A4サイズ用紙　縦置き横書き2,000字以内
⑦	修士論文の写し	**【人文学研究科国際コミュニケーション専攻のみ】**
⑧	研究業績等に関する書類	**【人文学研究科国際コミュニケーション専攻・情報学研究科情報学専攻のみ】** 様式任意
⑨	研究業績等の実物の写し	**【人文学研究科国際コミュニケーション専攻・情報学研究科情報学専攻のみ】**
⑩	TOEIC®の公式認定証（公開テスト）	**【心理学研究科のみ】** 試験日より2年以内のスコアを提出してください。 ※TOEIC®スコアによる英語試験の得点換算を希望する志願者のみ ※P.42～43〔注意事項〕を参照 ※コピー可。デジタル公式認定証も可。
⑪	日本留学試験成績通知書、又は日本語能力試験（N1）合格の証明書	**【外国籍の方のみ】** ※P.51〔特記事項〕にある「外国籍の方の出願資格」（2）の①又は②に該当する者。 ※コピー可。

※在留資格「留学」で出願する方のみ。以下の書類を出願前相談時にご提出いただきます。

	提出書類	備　考
⑫	安全保障輸出管理に関わる確認票	**【在留資格が「留学」の方のみ】** 本学所定用紙 ※P.42『●安全保障輸出管理について（※留学生の方のみ）』 P.42～43〈研究科毎の注意事項〉 を確認の上、出願前相談時に教員に提出してください。

●安全保障輸出管理について（※留学生の方のみ）

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を妨げず、かつ学術研究の健全な発展に寄与することを目的として、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。

そのため、留学生（在留資格「留学」）の方には、出願前に「安全保障輸出管理に関わる確認票」の提出をお願いしております。

下記〈研究科毎の注意事項〉を確認の上、指導を希望する教員と相談し、「安全保障輸出管理に関わる確認票」を提出してください。

【注意事項】

〈全研究科共通の注意事項〉

（1） 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

（2） 出願書類は、日本語又は英語で作成されたものを提出してください。これ以外の言語で作成されている場合には、公的機関で証明を受けた日本語の訳文を添付してください。

（3） 婚姻等により証明書と氏名が異なる場合には、戸籍抄本（写しでも可）を提出してください。

〈研究科毎の注意事項〉

●理工学研究科

出願前に希望する指導教員と連絡をとり、相談の上、入学志願票の所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。また、第二希望がある場合も連絡をとり、相談の上、所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。連絡先は、本学公式ウェブサイトの学部・大学院紹介のページ、デジタルパンフレットをご確認ください。

※**留学生（在留資格「留学」）の方のみ**、出願前相談時にP.41の提出書類⑫を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

●人文学研究科

出願前に希望する指導教員と連絡をとり、相談の上、入学志願票の所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。また、第二希望がある場合も連絡をとり、相談の上、所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。連絡先は、本学公式ウェブサイトの学部・大学院紹介のページ、デジタルパンフレットをご確認ください。

※**留学生（在留資格「留学」）の方のみ**、出願前相談時にP.41の提出書類⑫を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

以下の指定された言語で研究計画書を作成してください。

面接は研究計画書と同一言語で行います。

日本国籍の者	英語または中国語
外国籍の者	日本語または英語

●情報学研究科

出願前に希望する指導教員と連絡をとり、研究テーマについて相談の上、入学志願票の所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。また、第二希望がある場合も、相談の上、所定欄に「指導希望教員氏名」を記入してください。

（問い合わせ先）
gad-daigakuin-jho@ml.meisei-u.ac.jp
※**留学生（在留資格「留学」）の方のみ**、出願前相談時にP.41の提出書類⑫を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

●教育学研究科
出願前に希望する指導教員と連絡をとり、入学志願票の所定欄に、「指導希望教員氏名」を記入してください。
（問い合わせ先）
gad-daigakuin-kyoiku@ml.meisei-u.ac.jp
※**留学生（在留資格「留学」）の方のみ**、出願前相談時にP.41の提出書類⑫を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。

●心理学専攻
入学志願票の「指導希望教員氏名」欄に、下記のURLに記載されている博士後期課程研究指導教員のなかから、研究指導を希望する教員名を第一希望・第二希望共記入してください。
※URL：https://ebook.meisei-u.ac.jp/meiseiuniv/shinri-grad/
※留学生（在留資格「留学」）の方のみ、出願前に希望する指導教員と連絡をとり、P.41の提出書類⑫を印刷・記入の上持参し、希望する指導教員へ提出してください。
（問い合わせ先）
gad-psy-staff@ml.meisei-u.ac.jp

【TOEIC®スコアの換算表】
TOEIC®スコアの提出があった志願者については、英語試験の得点と、TOEIC®スコアの下記の換算表による得点のうち、高い方の得点を合否判定に使用します。

TOEIC®スコア	換算値（100点満点）
990	100点
985 ～ 860	90点
855 ～ 730	80点
725 ～ 600	70点
595 ～ 470	60点
465 ～ 340	50点
335 ～ 10	0点

【記述要領】
〈全研究科共通の記述要領〉
・可能な限りワードプロセッサー（Microsoft Word等）にて作成してください。
・ページ設定は以下の通り設定してください。
用紙：A4サイズ、片面記載、縦置き横書き
1行字数：全角40字　　1ページ行数：30行　　フォント・サイズ：11

〈研究科毎の記述要領〉

●理工学研究科

・研究題目、研究背景と目的、研究方法（できるだけ具体的に）、期待される成果等を含め2,000字以内で記述してください。

●人文学研究科・教育学研究科・心理学研究科

「Ⅰ．修士論文題目及び内容」、「Ⅱ．将来の研究計画」について、それぞれ以下の要件を満たす内容を記述してください。

Ⅰ．修士論文題目及び内容

以下の項目について、2,000字程度で具体的に記述すること。

主題論点とその研究の目的、方法、結果、考察、参考にした論文等

博士の学位論文（又は研究生論文）がある場合は、それについても上記の要領で記述すること。

→但し、専門職学位を得た者に限り、修士論文またはそれに該当する業績を記述すること。

Ⅱ．将来の研究計画（入学後の研究主題及び内容）

以下の項目について、2,000字程度で具体的に記述すること。

研究目的、研究計画・方法、研究の特色、当該研究についての内外の研究状況等

※その他の記述上の注意事項

・上記Ⅰ、Ⅱについてそれぞれ表題として、１行目に「Ⅰ．修士論文題目及び内容」、「Ⅱ．将来の研究計画」と明記し、さらに２行目以降に題目・主題を記述し、１行空けてから内容を記述すること。

・人文学研究科

記述時に使用する言語は、P.42で指定した言語とします。

●情報学研究科

研究題目、研究内容、研究日程、研究の方法論、研究の新規性等を記述してください。

６．入学検定料、出願方法、受験票の送付、試験会場、受験上の注意、入学手続

P.45〜の〔共通事項〕をご確認ください。

共　通　事　項

1 -1．入学検定料

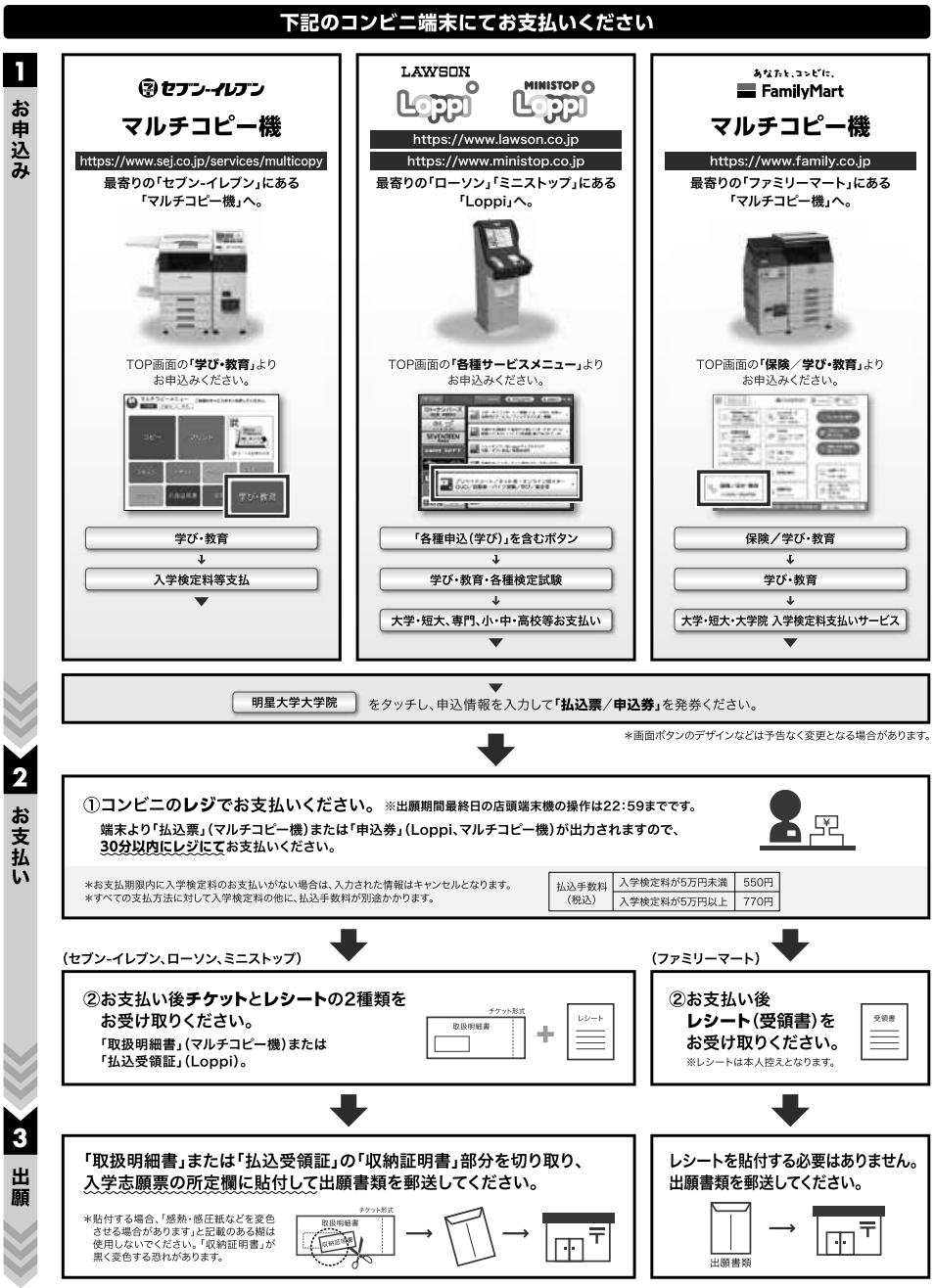
35,000円　※本学学部生又は本学大学院生で2026年３月卒業（修了）見込みの方は20,000円となります。

（1） コンビニエンスストアでお支払いください。出願期間最終日の店頭端末の操作は、22：59までです。

（2） 一旦納入した入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

（3） 国外からの入学検定料の振込はできません。

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法



1 -2．日本国外から入学検定料を送金する場合

入学検定料……￥35,000

（1） 海外送金時の注意

・海外送金は手続日から本学へ入金されるまで、お時間がかかることがございます。必ず出願期間内に入金されるよう、余裕を持って送金してください。

・送金の際、送金者が本人でない場合は、送金依頼書の連絡事項欄に受験者本人の名前（パスポートに記載されている名前）を記載してください。

・本学の口座に送金到着する金額が過不足のないよう、**送金依頼書の連絡事項欄に必ず「PAY IN FULL（※手数料依頼人負担となる）」と記入し、送金手続時には、送金銀行に対し、「送金手数料等は全て送金者が負担する。」旨を伝えてください。**

・各金融機関で別途手数料が発生する場合は、円為替手数料と送金手数料の手数料に加えて、必要な手数料は送金依頼人に負担していただきます。

（2） 一旦納入した入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

（3） **送金手続き終了後、以下のメールアドレスに送金手続きを行った旨を連絡してください。**

・連絡先：daigakuin@gad.meisei-u.ac.jp

（4） 送金時に必要となる内容について

Type of remittance（送金種類）	： Telegraphic transfer（T/T）（電信送金）
Currency（通貨）	： Japanese yen（日本円）
Method of payment（支払方法）	： Advise and pay（通知払）
Yen exchange charge（円為替手数料）	： Remitter's account（依頼人負担）
Remittance charge（送金手数料）	： Remitter's account（依頼人負担）
Purpose of payment（送金目的）	： Application Fee（入学検定料）
Amount of remittance（送金金額）	： ￥35,000
Information on recipient of payment	
Beneficiary Bank Name	MUFG Bank, LTD.
Branch Name	Fuchu Branch
Beneficiary Bank Address	1-6-1 Miyanishi-cho, Fuchu-shi, Tokyo 183-0022 JAPAN
SWIFT Code	BOTKJPJT （※11桁の場合…BOTKJPJTXXX ）
Beneficiary Account Number	225-1659422
Beneficiary Name	MEISEI UNIVERSITY
Beneficiary Address	2-1-1 Hodokubo, Hino-shi, Tokyo 191-8506 JAPAN

2．出願方法

・出願書類一式を本学アドミッションセンター宛に、国内は「簡易書留速達郵便」(海外からは「国際郵便」)にて郵送（必着)、もしくはアドミッションセンター窓口に持参してください。
・封筒は市販の角形 2 号を使用してください。
・必ず入学検定料を納入の上、提出してください。出願書類を郵送されても入学検定料の納入がない場合、又は入学検定料が納入されていても、出願書類の到着が出願期間締切日を過ぎている場合は、受験はできません。
・入学志願票の記入については下記をご確認ください。

入学志願票の記入方法

・必ず黒のボールペンで記入してください。
・記入の訂正をする場合は、二重線を引いて訂正印を押してください。修正液等は使用しないでください。

記入例

（一般・社会人・公募制推薦用）

2026(令和8)年度　明星大学　大学院　入学志願票

男 ○ 女

写真（4cm×3cm）
1. 半身、脱帽、正面、背景なし
2. 写真裏面に志望専攻・氏名を書いて全面を糊付けすること
3. 最近3ヶ月以内に撮影したもの
4. 白黒・カラーいずれも可
5. 枠なし

		姓	名
氏名	フリガナ	メイ セイ	タ ロウ
	漢字	明 星	太 郎

生年月日：西暦 2000年 05月 20日
卒業修了（見込）：西暦 2026年 03月

出身大学	大学	明星大学	学部研究科	心理学部	学科専攻	心理学科

① 出願する課程に○印を入れてください。
○ 博士前期課程／修士課程　　博士後期課程

② 出願する専攻に○印を入れてください。

理工学研究科 物理学専攻	人文学研究科 国際コミュニケーション専攻	教育学研究科 教育学専攻
理工学研究科 化学専攻	情報学研究科 情報学専攻 ※面接形式選択のこと↓	○ 心理学研究科 心理学専攻 ※コースを選択↓
理工学研究科 機械工学専攻	対面形式 / オンライン形式	・一般心理学コース 公認心理師の希望に応じて選択↓ / ・臨床心理学コース
理工学研究科 電気工学専攻		有 / 無 ○
理工学研究科 環境システム学専攻	経済学研究科 応用経済学専攻	建築学研究科 建築学専攻

③ 出願する入試区分に○印を入れてください。

一般（試験日：9月27日）	○ 一般（試験日：2月6日・2月26日）	公募制（試験日：9月27日）
社会人枠（試験日：9月27日）	社会人枠（試験日：2月6日・2月26日）	

指導希望教員氏名記入欄	第一希望	第二希望（応用経済学専攻、心理学専攻志願者は必ず記入すること）
	明星三郎 先生	明星花子 先生
実習指導希望教員氏名記入欄（心理学専攻【博士前期課程】の一般心理学コース志願者で公認心理師資格の取得希望者、及び臨床心理学コース志願者）	第一希望	第二希望（左記の志願者は必ず記入すること）
	明星●● 先生	明星▲▲ 先生

住所：〒191-8506 東京都 日野市程久保2-1-2 明星ハイツ301号室

電話番号	042□□□-591□-5793
緊急連絡先	090□□□-1111-2222
メールアドレス	xxx@stu.meisei-u.ac.jp

コンビニ支払用
収納証明書貼付欄
※ファミリーマートにて振込した場合は、貼付不要です。

3．受験票の送付

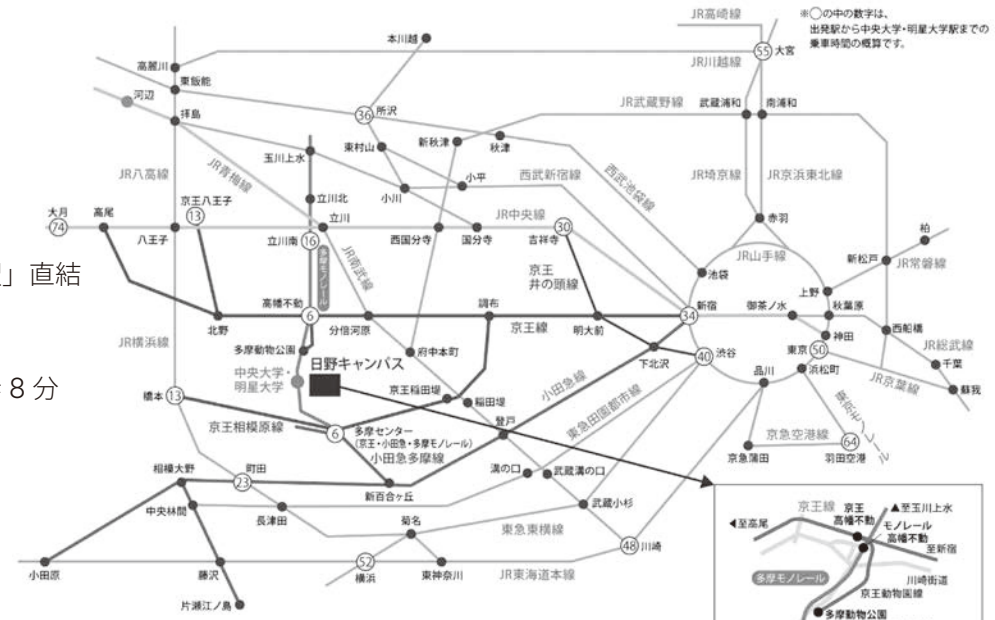
（1） 受験票は入学検定料、出願書類の確認が終了してから送付します。
（2） 試験日の 2 日前までに受験票が届かない場合は、アドミッションセンターまでお問い合わせください。

4．試験会場案内図

明星大学
日野キャンパス

多摩モノレール
「中央大学・明星大学駅」直結

京王線
「多摩動物公園駅」徒歩 8 分



キャンパスマップ
【日野キャンパス】



5．受験上の注意

（1） 受験票は常に携帯し、試験時に提示してください。
（2） 試験開始10分前には試験会場に入室してください。試験開始30分経過後の入室及び受験は認めません。

6．合格発表・入学手続

・合格発表は、本学公式ウェブサイト上に合格者の受験番号を公開します。
・合格者には合格通知書及び入学手続要項を順次送付します。入学志願票に記載された住所に変更があった場合は、必ずアドミッションセンターに連絡してください。
・入学手続要項に記載された事項を参照の上、入学手続締切日までに入学時納入金の納入及び入学手続書類の提出（郵送のみ、直接持参不可）を行ってください。入学時納入金等の金額及び詳細は、P.50をご覧ください。
・合否に関するお問い合わせには一切応じることができません。
・入学試験に合格し入学手続きを完了した方で、2026年３月24日（火）（必着）までに入学辞退届（本学所定用紙）を提出した場合は、入学金を除く入学時納入金を返還します。

外国人留学生は、入学手続時に、在学を保証できる身元保証人が必要となります。保証人は日本国内に居住している日本国籍または在留資格を有する20歳以上の者で、以下の①～⑤すべての事項について保証できる者でなければなりません。

① 大学院在学中の学費・生活費・居住費・帰国旅費等、留学経費一切を保証すること。
② 大学院在学中における勉学活動が円滑に進むよう、日常生活上の指導・助言を行うこと。
③ 出入国管理法令その他のわが国の法令が遵守されるよう、指導すること。
④ 諸問題が発生した場合には、明星大学とただちに連絡を取り合うこと。また、明星大学からの緊急連絡時における対応及び本人への連絡・通知等適切な対応措置を講ずること。
⑤ 本人が勉学活動を将来的にわたって中断するなど、その目的に応じた日本国内滞在が困難となった場合には、休学・退学等について相談にのり、適切な指導を行うこと。

〈入学金及び授業料等〉

（単位：円）

理工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）
情報学研究科（博士前期課程・博士後期課程）
建築学研究科（修士課程）

	初年次納入金			2年次以降納入金（年額）
	入学時納入金	秋学期納入金	初年次合計（年額）	
入学金	250,000	——	250,000	——
授業料	325,000	325,000	650,000	650,000
施設維持費	50,000	50,000	100,000	100,000
教育充実費（実験実習費・保険費等）	50,000	50,000	100,000	100,000
合計	675,000	425,000	1,100,000	850,000

（単位：円）

人文学研究科（博士前期課程・博士後期課程）
経済学研究科（修士課程）
教育学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

	初年次納入金			2年次以降納入金（年額）
	入学時納入金	秋学期納入金	初年次合計（年額）	
入学金	250,000	——	250,000	——
授業料	225,000	225,000	450,000	450,000
施設維持費	50,000	50,000	100,000	100,000
教育充実費（実験実習費・保険費等）	25,000	25,000	50,000	50,000
合計	550,000	300,000	850,000	600,000

（単位：円）

心理学研究科　心理学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

	初年次納入金			2年次以降納入金（年額）
	入学時納入金	秋学期納入金	初年次合計（年額）	
入学金	250,000	——	250,000	——
授業料	325,000	325,000	650,000	650,000
施設維持費	50,000	50,000	100,000	100,000
教育充実費（実験実習費・保険費等）	25,000	25,000	50,000	50,000
合計	650,000	400,000	1,050,000	800,000

※教職、資格を希望する場合は、別途実習指導料が必要となります。

※学苑内進学者（通信教育課程卒業者を除く）及び海外学術交流提携校等の方へ
全研究科において、学苑内進学者（通信教育課程卒業者を除く）及び海外学術交流提携校等の卒業者は入学金を免除します。

特　記　事　項

1．外国籍の方の出願資格

外国籍の方は、前述の出願資格に加え、下記（1）、（2）を満たすこと。

（1）〈1期に出願する方〉

「出入国管理及び難民認定法」に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を出願時に有する者、または入学時に取得見込みの者。

〈2期に出願する方〉

「出入国管理及び難民認定法」に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を出願時に有する者。

（2）　上記の（1）において、「出入国管理及び難民認定法」による在留資格が「留学」を有する者、または入学時に取得見込みの者は、以下の①～③のいずれかを満たすこと。

①　日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語（記述問題含む）」で250点以上を取得した者。

②　国際交流基金と日本国際教育支援協会共催の「日本語能力試験（N1）」に合格した者。

③　日本において学士の学位を得た者、又は2026年３月までに取得見込みの者。

2．入学資格審査

所定の出願資格を満たさない者に対して、個別に審査を行い、出願資格が認められた場合に限り、出願することが可能となる制度です。期日までに必要書類を提出してください。後日、審査結果を郵送にてお知らせします。審査に合格したことを確認後、出願してください。

（1）　申請期限

試験日	申請期限
2025年９月27日（土）　実施試験志願者	2025年６月30日（月）　必着
2026年２月６日（金）・２月26日（木）　実施試験志願者	2025年11月28日（金）　必着

（2）　提出書類

・在留資格が「留学」の方、または入学時に取得見込みの方は、日本留学試験の「日本語」の成績通知書（コピー可）、又は日本語能力試験の合否結果通知書（コピー可）を必ず提出してください。

・日本語又は英語で作成されたものを提出してください。これ以外の言語で作成されている場合、公的機関で証明を受けた日本語の訳文を添付してください。

出願資格	提出書類
【修士課程・博士前期課程】 大学に3年以上在学し、学士の学位に相当する学位を有する、又は取得見込みの者で当該研究科委員会において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者。 **【博士後期課程】** ・外国の学校、外国大学（大学院相当）日本校又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。 ・大学を卒業し、大学や研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。	① 入学資格審査申請書（本学所定用紙） ② 成績証明書 ③ 在学証明書（大学に3年以上在学した者） 卒業証明書（外国の15年の課程を修了した者） ④ 履歴書 ⑤ 志望理由書（800字以内）【理工学研究科のみ】
【修士課程・博士前期課程】 ・国内外の大学、研究機関又は企業等において、 2 年以上の研究歴や実務経験があり、当該研究科委員会において、その成果が学士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者と認められる者で、入学時において22歳に達する者。 ・その他研究科委員会において、大学を卒業したと同等以上の学力があると認めた者で、満22歳に達する者。 **【博士後期課程】** ・国内外の大学、研究機関又は企業等において、優れた研究歴や実務経験を有する者で、当該研究科委員会において、その成果が修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者と認められる者で、入学時において24歳に達する者。 ・その他研究科委員会において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、満24歳に達する者。	① 入学資格審査申請書（本学所定用紙） ② 最終学歴の成績証明書及び卒業証明書 ③ 履歴書 ④ 職務等経歴書（本学所定用紙。但し理工学研究科のみ主要業績の別刷 5 編まで添付すること） ⑤ 志望理由書（800字以内）【理工学研究科のみ】

（3） 送付先

〒191−8506　東京都日野市程久保２－１－１

明星大学　アドミッションセンター　大学院担当 宛

※封筒に『**入学資格審査申請書在中**』と朱書きし、簡易書留速達郵便にて送付してください。

（4） 結果通知

審査結果は郵送等にてお知らせいたします。審査に合格したことを確認後、出願してください。

3．障がいのある受験者に対する試験実施上の配慮について

病気または障がいを有し、受験において配慮を希望される方は、下記期限までに必ずアドミッションセンターまでお問い合わせいただき、事前に面談を受けてください。本学の教育施設や教育体制等について十分ご理解いただいた上で、受験してください。

試験日	問い合わせ期限
2025年９月27日（土） 実施試験志願者	2025年７月４日（金） 17：00まで
2026年２月６日（金）・２月26日（木） 実施試験志願者	2025年12月５日（金） 17：00まで

4．飛び級で進学を希望される方へ

飛び級による大学院入学の趣旨は、研究者として優れた資質を有する者に早期から大学院教育を実施する途を開くことにあります。

大学に３年以上在学した者（またはこれに準ずる者）で、本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得した者が飛び級による大学院入学をすることができます。

但し、大学在学３年間で大学院に進学する場合は、大学を中途退学することになり、学士の学位を得ることはできません。また、各種国家試験等の資格試験の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件としているものがありますので、注意してください。

5．中国の学校を卒業・修了された方の証明書

中国の大学・大学院を卒業／修了した場合は、①卒業証明書／修了証明書、②学位取得証明書、③成績証明書の原本を提出してください。証明書類の入手に時間を要することが想定されますので、早めに準備を開始し、出願期間内に提出してください。

①	卒業・修了証明書	中国高等教育学生信息網（CHSI）が発行する、英語で作成された Verification Report of China HigherEducation Qualification Certificateの原本。
②	学位取得証明書	中国教育部学位与研究生教育発展中心（CDGDC）が発行する、英語で作成された「認証報告（CREDENTIALSREPORT）」の原本。博士前期課程を受験する方は、学士学位（Bachelor’s Degree）、博士後期課程を受験する方は、修士学位（Master’s Degree）を取得していることが証明されていること。
③	成績証明書	中国高等教育学生信息網（CHSI）が発行する英語で作成された Verification Report of China HigherEducation Student’s Academic Transcriptの原本。

※①②③については、中国の大学・大学院が発行する日本語または英語で作成された証明書原本も可としま

す（ただし、可能な限り上記による証明書を入手のうえ提出してください）。それ以外の言語（中国語等）の場合は、日本語または英語による訳文を付けてください。訳文については大使館などの公的機関で認証を受けてから提出してください。中国国内で発行された卒業証書等の公証・認証手続は、中国国内の教育部学歴認証センター（北京市）や各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において行われており、中国国内の教育部学歴認証センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。また、日本国内では、中国教育部学歴認証センター日本代理機構が公証・認証手続を行っています。

個人情報の取り扱いについて

出願にあたり皆様からいただきました個人情報の主な使用目的は次の通りです。

〇入学選抜および入学手続き等のため
〇事務連絡等のため
〇個人を特定しない統計資料作成等のため
〇学校法人明星学苑が行う各種イベントや各種情報等の提供のため

これらは本学の委託を受けた外部の事業者や機関において行うこともありますが、個人情報の管理は、明星大学が責任を持って行いますので、予めご了承ください。

明星大学による個人情報管理に関する質問は、下記へお問い合わせください。

明星大学　アドミッションセンター

TEL：042-591-5793
月～金曜日　9：00～17：00
※土曜日・日曜日・祝日・大学所定の休日は受付けておりません。

明星大学
MEISEI UNIVERSITY

■ **明星大学　大学院（日野キャンパス）**

理工学研究科【物理学専攻／化学専攻／機械工学専攻／電気工学専攻／
環境システム学専攻】
人文学研究科【国際コミュニケーション専攻】
情報学研究科【情報学専攻】
経済学研究科【応用経済学専攻】
教育学研究科【教育学専攻】
心理学研究科【心理学専攻】
建築学研究科【建築学専攻】

■ **お問い合わせ先及び出願先**

明星大学　アドミッションセンター　大学院担当宛
〒191-8506　東京都日野市程久保2-1-1
TEL：042-591-5793(直通)
E-mail：daigakuin@gad.meisei-u.ac.jp
URL：https://www.meisei-u.ac.jp
月～金曜日　9：00～17：00
※土曜日・日曜日・祝日・大学所定の休日を除く